

Pan-Report™

発行 ;PanRollingInc.

年間購読料 63,000 円

無断転用禁止

#6F,7-9-18,Nishishinjuku,Sinjuku-ku,Tokyo,Japan,160-0023 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-9-18-6F fax03-5386-7393

《2012年版 投資金言集》

株式

足立眞一

毎年、クリスマスにはヘッジファンドの運用者からその年の著名人の金言を編集した小冊子が送られてくる。彼とは2004年の来日時にあとにも先にも一度会っただけが、ヘッジファンドの世界ではすぐれた実績を続けている隠れた大物である。当時スイスの投資銀行に照会したら「投資できるなら是非、購入を申し入れてくれ」という依頼であった。彼の返事は「せっかくだが新規の資金は受け付けていない」と断られた。

2004年といえば、その前年3月にNY株をはじめ世界の株価が底入れし2007年まで上昇を続けた。東京市場では先行きの見通しに意見が分かれていたときであった。

その後、送られてくる金言集を読みながら、資金運用には実に参考になる金言の収集の努力とその精力には感心させられ頭の下がる思いである。出所は書物、新聞、雑誌、論文、レポートなど多岐にわたる。今年は56の金言を集めているが毎年、名前が出るのはウォーレン・バフェットとその相棒のチャーリー・マンガーなどである。以下、2012年版の拾い読みした一部を紹介しよう。

ブルース・コブナー（カクストン・アソシエイツ）

“彼（マイケル・マーカス）は私にきわどい言葉をくれた。損失を出すことを恐れるな。それは悪いことではない。損を出せば次には正しい判断が出る。その次にまた損を出せば正しい判断が続く。再び損になると第3回目の正しい判断が出る。最後には2倍の投資成果を上げることができる”

ブルース・コブナーはハーバード大で教鞭をとったあと、商品のトレーダーからヘッジファンドに転向し成功者である。2011年には引退を表明したが、その輝かしい成果で設立したカクストン・グローバルは依然として人気ヘッジファンドである。彼の金言集は3万ドルの元手で2500倍とう驚異的な成果を残した先輩マイケル・マーカスの投資哲学から引用。投機家として成功する要件を端的に表現している。

ハワード・マークス（オークツリー・キャピタル）

“人には不愉快な思い出を忘れ去る習性がある。これは残念なことで不愉快な経験はもっとも大切な教訓になる”
オークツリー・キャピタルは7兆円の運用資産をもつプライベート・キャピタルで非合理的な市場を中心に機関投資家の資金を運用している。

ジェームズ・モンティア（GMOのストラテジスト）

“不変性の7つの投資ルール

常に安全性マージンにこだわる 今回は異なることはない 忍耐をもって最高の成果を待つ 逆張り リスクは永遠に資産を減らす レバレッジには疑問を持つ 理解できない投資対象は手控える”
最近、注目度を高めている行動ファイナンス論から投資分析をするストラテジストである。

ジョー・ロゼンバーグ（ロウズ社の資金運用最高責任者）

“現在のような市場は過去50年間みられなかったことだ。私でさえどれから手をつけるかに迷うほどだ。歴史的な屈曲点にきている。現在の株価は1980年代初めの債券相場と同じで当時の債券利回りは15%であった。いま株式投資すれば向こう5-10年間で年10%の年収益率が期待できる。手持ち資金のすべてを株に投資する勇気がないなら、危機の懸念が増幅するのを頭に入れて資金を分けて投資することだ”

ロゼンバーグは有名なコングロマリットのロウズ社で投資歴60年のベテランである。ウォーレン・バフェットと並んで長期投資での優れた投資家と称せられる。これまでの人生経験から「現在の心境は子供がキャンディ・ストアーにはいつ、どれから手を出そうかと迷っている心境」と語っている。「世界でも最高の米国企業の株価が割安株の仲間入りした」という。

監修 / パンローリング
http://www.panrolling.com/

TEL 03-5386-7391
E-mail info@panrolling.com